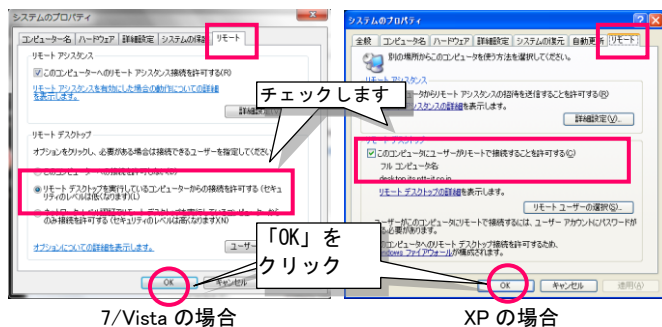
対象機器(操作される側)の設定

設定は、管理者権限で行ってください。

※本クイックセットアップが対象とする操作される側の PC は、Windows 7 Ultimate/Enterprise/Professional、Windows Vista Ultimate /Enterprise /Business、となります。詳しくは、USB キーに格納してある Biz Communicator リモートサービス取扱説明書をご覧ください。

(1) リモート接続許可の初期設定

[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]→(左メニュー内の)[リモートの設定] を開き、「リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する」を選択、「OK」をクリックします。(XP の場合、[コントロールパネル]→[システム]を開き、「リモート」タブ内の「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」を選択、「OK」をクリックします。)

7/Vista の場合　　XP の場合

(2) USB ドライブの認識

操作される側の PC に、リモートサービスの USB キーを挿します。
USB キーが PC に認識されますと、「リムーバブル記憶域があるデバイス」の領域に、下記の2つのドライブが表示されますので、ご確認ください。

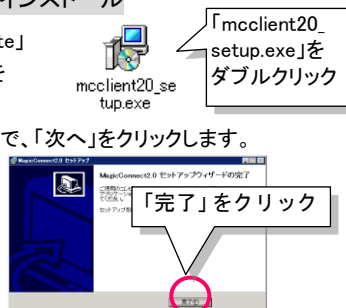
① BizCom(読み取り専用ドライブ)
② リムーバブルディスク(書込み可能ドライブ)

※リードオンリー(RO)タイプの場合は、②はご利用になれません。

(3) MagicConnect Client ソフトのインストール

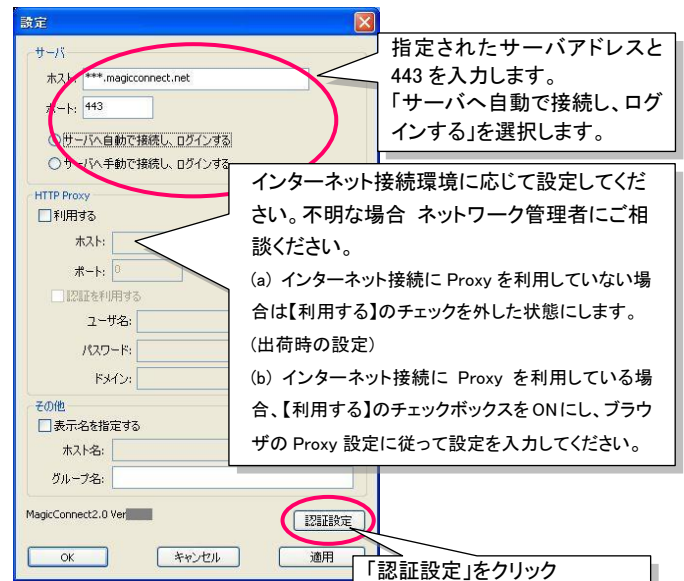
①の「BizCom」ドライブ-「bizcom_remote」フォルダ内の「mcclient20_setup.exe」をダブルクリックして実行します。

セットアッププログラムが起動しますので、「次へ」をクリックします。

セットアップ完了画面が表示されたら「完了」をクリックして、USB キーを PC から取り外します。

USB キーは、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」から、USB キー(USB 大容量記憶装置デバイス)を選択し、取り外してください。

(4) 初期設定と接続

Windows タスクバーの通知領域に表示されている MagicConnect Client アイコンを右クリック、「設定...」を選択して、設定画面を表示します。

設定画面の「サーバ」の「ホスト」欄に、指定されたリモートサービスの <サーバアドレス> を、「ポート」欄に<443>を入力します。
(ご利用になる環境によっては、HTTP Proxy 欄を手動設定してください)
次に、「認証設定」をクリックします。

ユーザ認証画面で、リモートサービス用の「bzcs」で始まるユーザ名、パスワードを入力する。

以上の初期設定が終了したら、上述の設定画面の「OK」を押して画面を閉じます。その後、通知領域の MagicConnect Client アイコンを右クリックし、「接続」を選択します。

MagicConnect Client アイコンがグレーからカラーアイコン(マウスカーソルを重ねると「接続待ち」と表示)に変われば、設定が正しく行われ、中継管理サーバへ接続したことを意味します。この状態になれば操作 PC からの接続が可能になります。

×印付きアイコンは接続に失敗したことを意味します。アイコンを右クリックして「接続エラーを確認...」を選びエラー内容を確認してください。必要であれば設定を見直して【切断】【接続】を実行してください。

(5) 待機状態の設定

スタートメニューから[ユーザーの切り替え]を選択し、PC をパスワードを入力しないと使えない状態にします。

Windows XP にて「ユーザーの切り替え」をご利用になるには、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]の「ユーザーの簡易切り替えを使用する」にチェックが入っている必要があります。

操作される側 PC の電源設定によっては、時間が経つと自動的に「スリープ」、「休止状態」になる場合があります。その場合には電源設定を見直してください。「接続待ち」状態で「スリープ」や「休止状態」になりますと、サーバとの接続が切断され、リモート接続できなくなりますのでご注意ください。

※対象機器側の初期設定が終了した後は、USB キーを取り外し、操作 PC 側に挿してご利用ください。

操作 PC(操作する側)の設定

設定は、ユーザ権限でできます。

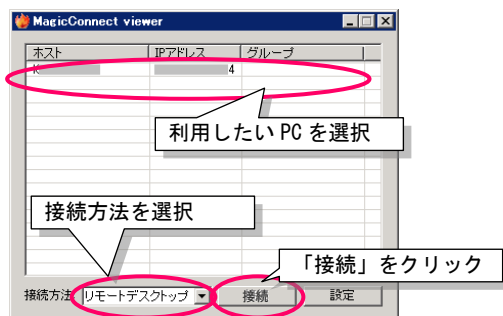
※操作 PC(操作する側の PC)として使用可能な OS は、
Windows 7/Vista/XP となります。

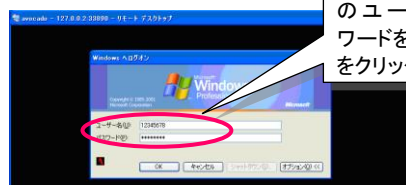
(1) MagicConnect Viewer の接続

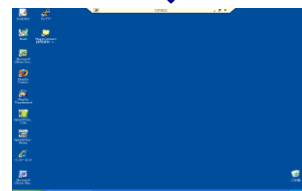
操作する側(外出先等)の PC にリモートサービスの USB キーを挿し、「BizCom」ドライブ直下の「mc_viewer.exe」をダブルクリックして起動します。

接続画面が表示されたら、指定されたリモートサービスのサーバアドレス、bzcs から始まるユーザ名、パスワードを入力して、「OK」をクリックします。

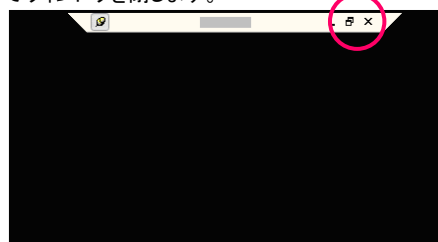
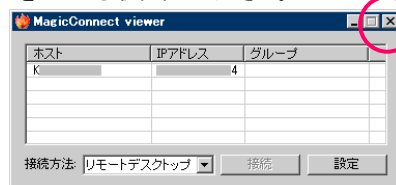
※パスワード等の入力を、OS に標準で搭載されているスクリーンキーボード([スタートメニュー]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コンピューターの簡単操作]→[スクリーンキーボード])から行うことで、ハードウェアを含めたキーロガー対策が可能です。
※サーバアドレスは、直接入力または、プルダウン(最新の履歴 5 件)から選択することができます。
※ユーザ名およびパスワードは、対象機器側に設定したアカウントと同一のアカウントを操作 PC に入力してください。

サーバへの接続が完了するとメイン画面が現れ、接続状態が「接続待ち」となっている対象機器の情報がリスト表示されます。
利用したい PC(対象機器)と接続方法(リモートデスクトップ)を選択し、「接続」をクリックします。

(2) 利用したい PC(対象機器側)へログオン

接続先として選択した PC(対象機器)の、Windows ログオン画面が現れたら、対象機器側のユーザー名、パスワードを入力して、ログオンします。

《リモート接続画面上の Windows ログオン画面》

ログオンに成功しますと、対象機器側のデスクトップ画面が現れ、リモート操作が利用可能となります。

《リモート接続先(対象機器)のデスクトップ画面》

(3) 利用終了

カーソルをデスクトップ画面の上端に移動して台形の上部バーを表示し、「×」を押してウィンドウを閉じます。

次に、メインウィンドウの右上の「×」を押して、MagicConnect Viewer を終了させ、USB キーを PC から取り外してください。

※USB キーは、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」から、USB キー(USB 大容量記憶装置デバイス)を選択し、取り外してください。
※USB キーは、接続の都度、操作 PC に装着してご利用ください。
※「標準アカウント」のみをご利用の場合は、リストへは 1 台のみの表示(1 対 1 接続)となります。WOL アカウントと組み合わせることで、1 本の USB キーから複数の対象機器へ接続(1 対 N 接続)する等の接続形態がご利用になれます。詳細は、弊社営業担当にご相談ください。

- USB キーがメモリタイプの場合、ウイルス感染やファイルの誤削除を防ぐために、初期設定を済ませた後は、USB キーは【書込み禁止状態】で使用されることをおすすめします。なお、書込み禁止ツール(WriteProtect.exe)と使用許諾書/利用手順書は、USB キーの「BizCom」ドライブ内に格納されています。
- 本クイックセットアップで、リモート接続が正常にできない場合は、USB キーに格納してある Biz Communicator リモートサービス取扱説明書、および、Biz Communicator サポートページ(http://www.ntt.com/bzc/)の「FAQ(リモートサービス)」をご参照ください。
- Windows Server 2008/2003 をご利用の場合は、USB キーに格納されている「リモートサービス取扱説明書」をご参照ください。
- WOL コントローラを設置することで、操作 PC から、操作される側の PC の電源を ON にすることができます。これにより、会社や自宅の操作される側の PC の電源を常時オンにしておく必要はなくなります。詳細は、弊社営業担当にご相談ください。
- MagicConnect は、エヌ・ティ・ティ アイティ株式会社の登録商標です。本マニュアルの MagicConnect に関する記述は、エヌ・ティ・ティ アイティ株式会社に原著作権があります。